

公開実用平成 3-100158

④日本国特許庁 (JP)

④実用新案出願公報

④公開実用新案公報 (U) 平3-100158

④Int.CI.

B 65 D 73/00
75/28

識別記号

序内整理番号

K 7818-3E
7818-3E

④公開 平成3年(1991)10月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全頁)

④考案の名称 電気部品の梱包装置

④実願 平2-6682

④出願 平2(1990)1月26日

④考案者 吉田茂 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地 三洋電機株式会社内

④出願人 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

④代理人 弁理士 西野卓嗣 外2名

明細書

1. 考案の名称

電気部品の梱包装置

2. 實用新案登録請求の範囲

(1) モータ等の電気部品を中央部に載置する段ボール台紙と、前記電気部品を覆うと共に周縁部を前記段ボール台紙に固定する合成樹脂製フィルムシートとからなり、前記段ボール台紙の両側部を前記電気部品側に折曲して前記電気部品の側面部に対向させたことを特徴とする電気部品の梱包装置。

3. 考案の詳細な説明

(イ) 産業上の利用分野

本考案はモータ等の重量のある電気部品の梱包装置に関する。

(ロ) 従来の技術

本考案に先行する技術として、例えば、実公昭57-34150号公報にはモータ等の重量のある電気部品を段ボール紙で巻回して外装箱に収納するようにした梱包装置が示されている。

712

公開実用平成 3-100158

この従来技術においては、電気部品は段ボール紙で巻回して保持しているだけであるので、塵埃が電気部品に付着する欠点がある。

一方、従来からプリスター・パック包装等において小形、軽量物品を台紙等にフィルムシートにより固定したものはあるが、モータのような重量のある電気部品を台紙に固定保持し、且つこの台紙を緩衝部材に兼用したものはない。

(ハ) 考案が解決しようとする課題

本考案は、簡単な構成でモータ等の電気部品を、塵埃が付着しないように且つ保護しながら梱包できるようにした電気部品の梱包装置を得ることを目的としている。

(ニ) 課題を解決するための手段

本考案の電気部品の梱包装置はモータ等の電気部品を中央部に載置する段ボール台紙と、前記電気部品を覆うと共に周縁部を前記段ボール台紙に固定する合成樹脂製フィルムシートとからなり、前記段ボール台紙の両側部を前記電気部品側に折曲して前記電気部品の側面部に対向させたことを

特徴としている。

(ホ) 作用

上記構成により、モータ等の電気部品はフィルムシート内に保持固定されているので塵埃が付着せず、また段ボール台紙の両側部が電気部品の側面部に対向することにより該側面部を覆って、該側面部の保護と緩衝を行なう。

(ヘ) 実施例

以下、本考案電気部品の梱包装置を図面に基いて説明する。

(1)は重量のある電気部品である整流子モータで両側面に整流子(2)(2)を突設している。

(3)は前記整流子モータ(1)の梱包装置である。

該梱包装置(3)において、(4)は長方形の段ボール台紙で、前記整流子モータ(1)を載置する中央部(5)と、該中央部(5)左右両側に夫々折曲線(6)(6)を介して形成した左右両側部(7)(8)とから構成されている。

(9)は前記整流子モータ(1)を収納する合成樹

脂製の収納用フィルムシートで、該フィルムシート(9)はその周縁部(10)を前記段ボール台紙(4)に熱溶着して固定されている。前記収納用フィルムシート(9)は伸び縮みができると共に段ボール台紙(1)とは熱溶着するため、整流子モータ(1)の外径とは垂直の方向である長さ寸法より若干長目のフィルムシート(9)により整流子モータ(1)の長さ方向の固定保持も成されており、また左右方向の固定保持はフィルムシート(9)の収縮と溶着により成されている。

そして、前記段ボール台紙(4)の両側部(7)(8)を折曲線(6)(6)部分で整流子モータ(1)側に折曲して該両側部(7)(8)を前記整流子モータ(1)の側面部に対向させ、前記両側部(7)(8)で前記整流子モータ(1)の側面部を覆うことにより前記両側部(7)(8)が、前記整流子モータ(1)の側面部の保護と衝撃とを行なう保護部材の役目を果たす。

そしてこのように両側部(7)(8)を折曲した状態で1個入の外装箱へ、あるいは左右、上下に並

べて積付けた状態で複数個入りの外装箱に収納して梱包できる。

従って、整流子モータ(1)はフィルムシート(9)で覆われているので、塵埃が付着しない状態で保持できると共に、段ホール台紙(4)の両側部(7)(8)によって保護、緩衝が行なわれ、良好な梱包状態まで輸送でき、また長期に亘って保管できる。

さらに整流子モータ(1)は段ホール台紙(4)に載置した状態でフィルムシート(9)を被せてその周縁部(10)を段ホール台紙(4)に熱溶着し、前記段ホール台紙(4)の両側部(7)(8)を折曲するだけで梱包できるので、梱包作業が簡単である。

(ト) 考案の効果

本考案の電気部品の梱包装置は以上の如く構成しているので、簡単な構成でモータ等の電気部品を塵埃が付着しないように、且つ保護しながら、梱包でき、梱包作業の簡単な、且つ良好な梱包状態で輸送や保管のできるものを得ることができる。

公開実用平成 3-100158

4. 図面の簡単な説明

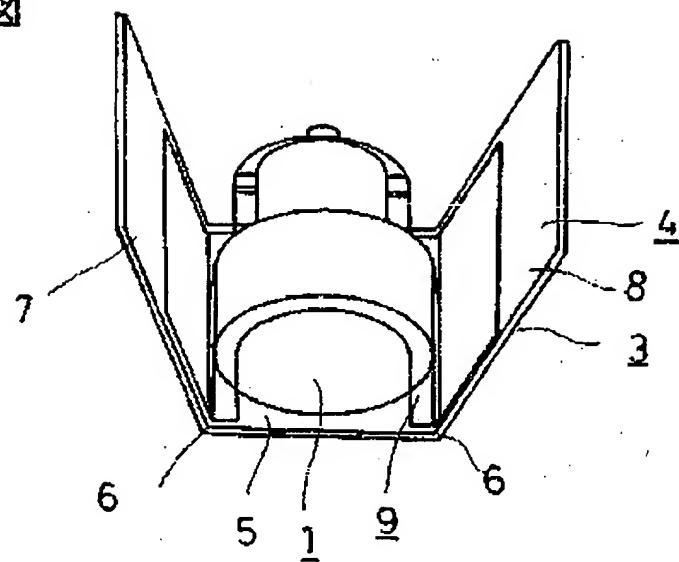
図面は何れも本考案電気部品の梱包装置の実施例に関し、第1図は梱包状態の斜視図、第2図は梱包途上の平面図、第3図は同側面図、第4図は整流子モータの斜視図、第5図は段ボール台紙の展開図である。

(1)…整流子モータ(電気部品)、(4)…段ボール台紙、(9)…合成樹脂製フィルムシート。

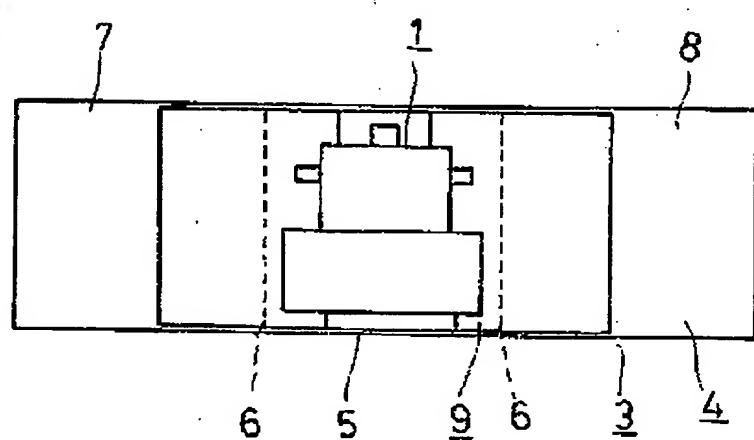
出願人 三洋電機株式会社

代理人 弁理士 西野卓嗣(外2名)

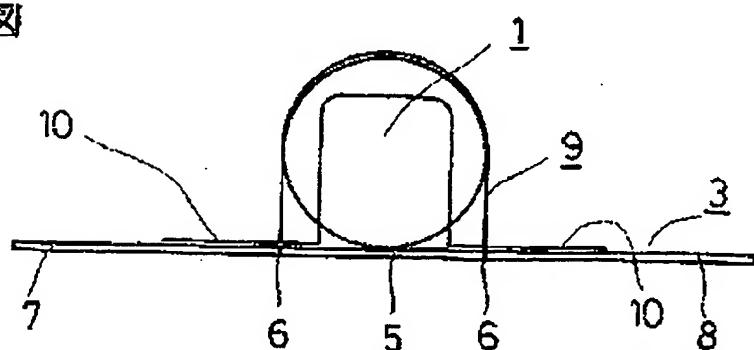
第1図



第2図

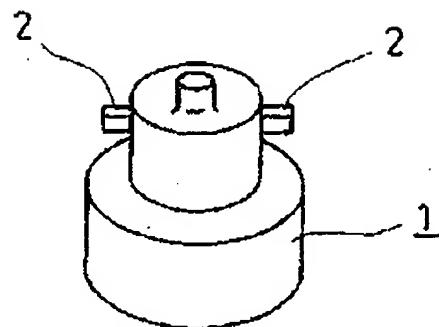


第3図

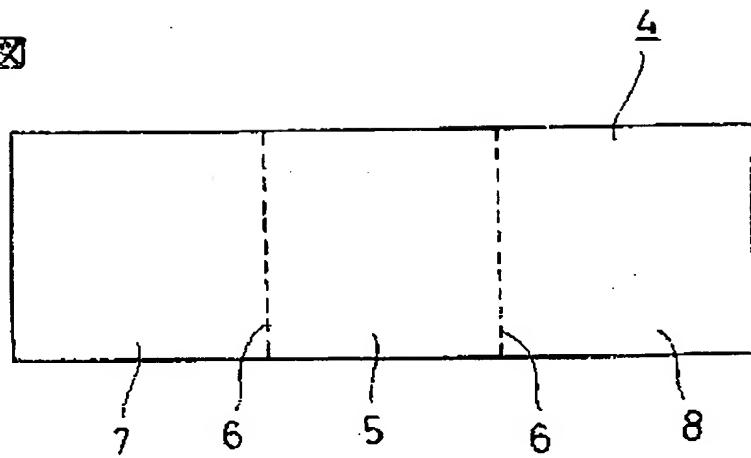


出願人 三洋電機株式会社 718
代理人 弁理士 西野卓嗣 (外2)
審査請求番号 3-100158

第4図



第5図



実用3-100158

出願人 三洋電機株式会社 711
代理人 弁理士 西野卓嗣(外2名)